科目名			担当教員	
精神保健福祉援助技術総論Ⅰ			小野　芳秀	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CR3153	2	1	RorSR（講義）	2年以上
生成AI利用レベル		レポート　：　C	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

本科目は2012（平成24）年度より適用カリキュラムの「精神保健福祉相談援助の基盤（基礎・専門）」、2020（令和2）年度より適用の現行カリキュラムの「ソーシャルワークの理論と方法」「精神保健福祉の原理」などにあたるものです。「総合的かつ包括的な相談援助の理念と方法に関する知識と技術」ならびに「医療と協働・連携する相談援助の方法に関する知識と技術」を習得することが求められています。主な内容は様々な問題に対応する精神保健福祉士としての役割、相談援助の定義・理念・形成過程、他の専門職について理解した上で多職種との連携の仕方などについて学びます。「精神保健福祉の理論と相談援助の展開」を学ぶ上で基盤となる科目です。

■到達目標

１）ソーシャルワーカーとしての倫理、役割を理解し説明できる。
２）精神保健福祉領域の歴史を説明できる。
３）基本的原則を説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「倫理的実践力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価70%＋スクーリング評価 or 科目修了試験30%

■教科書・参考図書

【教科書】（「精神保健福祉援助技術総論Ⅱ」と共通）

精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『精神保健福祉士養成セミナー3 精神保健福祉相談援助の基盤[基礎][専門]〈第6版〉』へるす出版、2017年　第1章～第3章Ⅱ（改訂新版でも可）

（最近の教科書変更時期）2017年4月

（スクーリング時の教科書）資料配付・提示のほかに、上記教科書を使用する場合があります。

【参考図書】

１）立花直樹・小口将典・竹下徹・九十九綾子・汲田千賀子・「最新・はじめて学ぶ社会福祉9 ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（共通）」ミネルヴァ書房、2023年
２）一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座　精神保健福祉士養成講座 ソーシャルワークの理論と方法［共通科目］』中央法規出版、2021年

３）一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 精神保健福祉士養成講座　精神保健福祉の原理』中央法規出版、2021 年
４）野中猛著『心の病 回復への道』岩波新書、2012 年
５）F・P・バイステック著　尾崎新 他訳『ケースワークの原則 援助関係を形成する技法 新訳改訂版』誠信書房、2006 年
６）C・A ラップ、R・J ゴスチャ著　田中英樹監訳『ストレングスモデル―精神障害者のためのケースマネジメント　第３版』金剛出版、2014 年
※教科書記載の参考図書も参照されたい。

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

・ソーシャルワーカーの基本的役割について理解してほしい。
・現代社会におけるソーシャルワーカーとしての精神保健福祉士の役割について理解してほしい。
・基本的援助技術について理解してほしい。

■講義内容

▶オンデマンドのみ

回数	テーマ	内容
1	精神保健福祉士の役割と意義①	精神保健福祉士の役割と意義、国家資格化
2	精神保健福祉士の役割と意義②	専門職としてのソーシャルワーカーの倫理
3	精神保健福祉士の役割と意義③	現代社会と精神保健福祉士
4	ソーシャルワークの定義と構成要素	ソーシャルワークの定義と構成要素
5	ソーシャルワークの理念	ソーシャルワークの理念（エンパワメント、ストレングス視点、社会正義など）
6	ソーシャルワークの歴史	ソーシャルワークの歴史的背景、形成過程
7	ソーシャルワークの理論①	診断主義と機能主義、生態学的アプローチ、医学モデルと生活モデル、相談援助の原理と原則、ジェネラリストソーシャルワーク
8	ソーシャルワークの理論②　質疑応答	グループワーク、コミュニティワーク
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

上記講義内容にそって、講義を進めます。

■スクーリング　評価基準

授業への参加状況 20%とスクーリング試験 80%で評価します。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

テキスト第１章から第３章Ⅱまで読んでスクーリングに臨んでください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	精神保健福祉士の役割と意義① (第１章ⅠA)	わが国の PSW の歴史的変遷と国家資格化の動向と意義について理解する。 キーワード：PSW、Y 問題、宇都宮病院事件、当事者主体、自己決定の原則	歴史的事件を踏まえながら、精神保健福祉士の国家資格化の意義を理解する。 ※公益社団法人日本精神保健福祉士協会は、2020 年６月の通常総会において、PSW の英語略称を、MHSW（メンタルヘルスソーシャルワーカー）に変更している。
2	精神保健福祉士の役割と意義② (第１章ⅠB)	わが国の精神保健福祉施策の歴史的変遷を様々な法改正から理解する。 キーワード：精神病者監護法、精神病院法、精神衛生法、精神保健法、精神保健福祉法、障害者基本法、障害者総合支援法、 精神保健福祉法改正	精神保健福祉に係わる諸制度の変遷についてまとめる。
3	精神保健福祉士の役割と意義③ (第１章ⅠC)	精神保健福祉士と社会福祉士の役割と専門性について理解する。 キーワード：社会福祉士、社会福祉士法、精神保健福祉士の役割、精神保健福祉士の専門性	精神保健福祉士の役割、専門性、課題について理解する。
4	現代社会と精神保健福祉士① (第１章ⅡA)	現代社会の特徴について理解する。 キーワード：雇用形態、人口構造、家族の変化、精神保健の現代的課題	現代社会の様々な変化と精神保健の課題について押さえる。
5	現代社会と精神神保健福祉士② (第１章ⅡB、C)	精神保健福祉士の活動領域と取り巻く社会状況を理解する。 キーワード：発達障害、司法領域の支援、学校領域の支援、自殺対策、産業精神保健、グローバリズム、チームアプローチ、ソーシャルアクション	様々な領域に拡大している精神保健福祉士の活動領域をまとめる。
6	ソーシャルワークの定義と構成要素① (第２章ⅠA、B)	ソーシャルワークとは何かを成立過程及び定義から理解する。 キーワード：リッチモンド、定義、慈善組織活動、セツルメント運動、ソーシャルワークとは	ソーシャルワークの歴史的成立過程と定義を把握する。

7	ソーシャルワークの定義と構成要素② (第２章ⅠB)	ソーシャルワークの構成要素としての価値・知識・技術、人権擁護について理解する。 キーワード：バートレット、バイステック、かかわり、人と状況の全体性、信頼関係、共感と傾聴、権利、エンパワメント権利擁護、Y 問題、クライエントの自己決定の原則	ソーシャルワークの基本となる価値、知識、技術、人権擁護について整理する。
8	ソーシャルワークの理念① (第２章ⅡA、B、C)	人間尊重、社会正義、利用者主体の観点から、ソーシャルワークの理念を理解する。 キーワード：人間尊重、社会正義、利用者主体、エンパワメント、ストレングス視点、自己実現	人間尊重、社会正義、利用者主体について理解し、説明できるようにまとめる。
9	ソーシャルワークの理念② (第２章ⅡD、E)	尊厳の保持、権利擁護の観点から、ソーシャルワークの理念を理解する。 キーワード：世界人権宣言、国際人権規約、倫理的ジレンマ、権利擁護、パターナリズム、自己決定	尊厳の保持、権利擁護について理解する。
10	ソーシャルワークの理念③ (第２章ⅡF、G、H)	ソーシャルワークにおける自立支援、社会的包摂、ノー ライゼーションについて理解する。 キーワード：自立、ソーシャルインクルージョン、ノーマライゼーション、バンクミケルセン、ニイリエ、ソーシャルロールバロリゼーション	自立とは何か、社会的包摂、ノーマライゼーションについて理解し、説明できるようにまとめる。
11	ソーシャルワーク理論と展開過程① (第３章ⅠA、B、C)	ソーシャルワークの歴史を理解する。 キーワード：エリザベス救貧法、慈善組織協会、ケースワーク論争	ソーシャルワークの歴史的背景について理解する。
12	ソーシャルワーク理論と展開過程② (第３章ⅡA)	ソーシャルワーク理論について様々な観点から理解する。 キーワード：理論と実践の統合化、機能主義学派、診断主義学派、OJT、スーパービジョン、国際生活機能分類、実践モデル、医学モデル、生活モデル	ソーシャルワークにおける理論の位置づけについて理解する。
13	ソーシャルワーク理論と展開過程③ (第３章ⅡA)	ソーシャルワークの実践モデルについて理解する。 キーワード：社会生活技能訓練（SST）、社会的存在としての精神保健福祉士、クライエントとの協働関係、生活モデル、生態学的アプローチ、システム理論、エンパワメントアプローチ、ストレングス視点、ナラティブアプローチ	ソーシャルワークの様々な実践モデルについて理解し、説明できるようにまとめる。

14	ソーシャルワーク理論と展開過程② (第３章ⅡB)	ジェネラリストソーシャルワーク、グループワークの理論を理解する。 キーワード：ジェネラリストソーシャルワーク、グループワーク、コノプカ、コイル、社会諸目標モデル、相互作用モデル、治療モデル、ヴィンター	ジェネラリストソーシャルワーク、グループワークの理論を理解し、説明できるようにまとめる。
15	ソーシャルワーク理論と展開過程② (第３章Ⅱ)	コミュニティワークについて理解する。 キーワード：コミュニティオーガニゼーション、レイン、ニューステッター、ロス、ジェネラリストソーシャルワーク、地域生活の基盤、生活の概念	地域におけるソーシャルワークの概念を理解し、地域生活支援について説明できるようにする。

■レポート課題

１単位め	わが国の精神保健の歴史的変遷を踏まえ、精神保健福祉士の国家資格化の意義について述べてください。 ※1,900 字以上記述してください。
２単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

テキストに記載されている制度や理論は、初学者にとっては、やや取り組みにくい内容かもしれません。関連書籍や資料を読み、不明の用語があれば、その都度意味を調べながら、積極的かつ精緻な学びに取り組んでください。

精神保健医療福祉の今日までの歴史を振り返る時、その当時は一般的社会通念であっても、現代では通用しないことが多々あります。「歴史は繰り返す」という古代ローマやギリシャの歴史家の有名な言葉が示すように、過去の歴史を踏まえ、現代の制度や施策を検証・点検する「温故知新」の視点はとても大事です。10 年後、20 年後の我々が、現在の精神保健医療福祉をどう評価するのかを想像してみましょう。

【1 単位めアドバイス】

わが国の精神保健に関する歴史的事件、制度改正の変遷を踏まえ、国家資格化が求められた経緯と意義についてまとめてください。

【2 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

科目修了試験

■評価基準

教科書の内容の理解度を評価します。